MAY

11

みつかる。
つながる。
よくなっていく。

２０２５年度　YMCAせとうち野外活動友の会
幼児セクション５月例会のご報告

参加者：36名、ボランティアリーダー：12名、スタッフ：2名
場　所：津黒いきものふれあいの里（真庭市蒜山）
プログラム：魚のつかみどりをしよう！

５月例会が実施されるこの日、雨が心配されていましたが、みんなの思いが届いたのか、お天気も回復し、集合場所にみんなの元気な笑顔が集まってきました。５月は魚のつかみ取りです。朝から、こどもたちはやる気満々！
「魚、ちょっと怖いな～」という子は、リーダーと一緒につかまえようね！と励ましながら、バスに乗って津黒いきものふれあいの里まで出発です。
バスの中では、隊長のリーダーのかんかんリーダーから、魚をつかまえるコツのクイズをしてもらい、つかまえかたはバッチリです！
到着したら、いよいよ魚のつかみ取りに挑戦！この日は気温も低かったので、足を水につけた瞬間、「つ、つめた～い！！」とこどももリーダーもびっくり！急いで水から上がる子もいましたが、泳いでいる魚を見つけると、冷たいなんて言っていられません！

プログラムチーフ：かんかんリーダー

「あっちにいるよ！」「こっちに隠れてる！」と、みんなで教え合いながら、バシャバシャと水の中を探し回っています。「つかまえた！見て見て！」と、つかまえたらみんなで大喜びです。魚を触るのが苦手な子には、得意なこどもたちが手を添えて一緒につかまえてくれたり、つかまえた魚を触らせてあげたり、優しい姿もたくさん見られました。

取った魚は、魚焼き焼き隊のリーダーたちがおいしく焼いてくれて、こどもたちもパクリ！「おいしい！」「もう１匹ほしい！」と、おいしいお魚に大満足のこどもたちでした。

【担当ディレクターより】

今回のプログラムは、魚のつかみどりでした。こどもたちはなかなかできない体験に、大興奮でした。生きている魚をつかまえるということ。それをいただくということ。こどもたちには、みんなが大きくなるために、ごはんになってくれている魚に対して「ありがとう」の気持ちを持とうね、ということを話をしました。焼いた魚を食べる前に、リーダーといっしょに「ありがとう！」の気持ちを込めて、グループみんなで「いただきます」、と言って食べました。中には、骨のまわりまで、きれいに最後まで食べる子もいました。楽しい、だけでなく、「いのちをありがとう」の思いがこどもたちから伝わってきた１日となりました。

担当ディレクター：市川愛（ジャミリーダー）